

牧羊ひろば



新琴似小羊教会 教会学校

新琴似小羊教会は、北海道札幌市にあり、今年で創立19年を迎えました。私たちの教会学校も試行錯誤しながら行っている状況です。これまでに神様によって、支えられてきたことをお証します。

今、子どもたちのおかれている状況には、厳しいものがあります。教会に來ている子どもの両親が離婚したケースもあります（北海道の離婚率一・九七%、全国第4位、二〇一七年厚生労働省「人口動態統計」）。またイジメやいろいろなことで傷ついている子どもが多くなります。イエス様は何と言っているか、そのことを見つめてきました。

「その子をわたしの所に連れてきなさい。」

（マルコ9・19）

●こひつじクラブ（教会学校）

創立当初より「こひつじクラブ」という教会学校の働きが進められてきました。そして二〇一〇年より教会ではMEBIG（メビック）を取り入れました。MEBIGのME（Memory）み言葉の受肉・弟子化。BI（Bible）メッセージ、祈り、賛美・礼拝。G（Game）遊びと



わたあめパーティーのメッセージ中

意味があります。子どもというひとりの人間は、イエスさまが十字架で身代わりに死なれたほどの尊い魂として存在しています。ですからイエスさまは、「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである」(マタイ25・40)。「わたしはあなたがたを友と呼んだ」(ヨハネ15・15)。イエスさまが、私たちを友と言ってくださいました。イエスさまにならって、子どもを「おともだち」と呼ぶようにしています。

日曜日午前9時30分～10時15分の「スペシャルこひつじクラブ」を行います。それに加えて、日曜日午後2時から「こひつじクラブ」を月2回ほど行っています。その中でイベントをするときもあります。「こひつじクラブ」は、礼拝です。スタッフ(CS教師)もおともだちも、体を動かして一緒に遊び、賛美をして、メッセージを聞きます。どのプログラムも「礼拝」ですから、真剣に心から、遊び、賛美し、み言葉を聞きます。神様と共にいる状態は、ゆとりと安心と喜びです。一緒に遊ぶことによって、おともだちは安心してリラックスして、神様を知ることができます。現在、クリスチャンホームの

おともだちは牧師子弟1名だけですが、ほぼ毎週未信者の家庭のおともだちが来ていて、にぎやかです。午前の「こひつじクラブ」に出席し、お昼も一緒に食べていく子が多いです。ほとんど毎週来る子もいれば、時々来る子など様々です。



わたあめパーティー

●新しいおともだちへの伝道

以前は、年4回の子ども大会を持っていました。1回のイベントで、50〜70名以上のおともだちが毎回来てくれていました。けれども、おともだちの顔と名前が一致しなかったり、分級ができなかったりしていました。それで、最近では、クリスマスなど定期的なイベントは残して、20名前後の少人数のミニイベントも開催し、より深くおともだちとの時間を共有しています。大きなイベントは、今まで来たおともだちにハガキで案内するとともに、小学校の前でチラシを配ります。ミニイベントは、ハガキのみのお知らせにしています。イベントの内容は、まず普段の「こひつじクラブ」と同じように、一緒に遊び、賛美をしてメッセージを聞きます。その後、わたあめやアイスを食べたりする時間になります。昨年度に行われた子ども大会（ミニイベントを含め）をご紹介します。

二〇一七年

4月23日（日）「わたあめパーティー」

「わたあめパーティー」は、小学生の男子が「いろ

ろな味のわたあめが食べれるといい」と考えたイベントです。「こひつじクラブ」では、イベントなどのアイディアを小学生から募集することもあります。そして中学生はサブスタッフとして参加しています。

7月16日（日）「アイスパーティー」

ゲームや賛美、メッセージは教会内で行い、教会の駐



アイスパーティー

車場でアイスを食べました（雨天のときは教会内）。他のイベントもそうですが、参加費は無料にしています。初めて教会に来るおともだちにとって、お金をもらって、教会に行くことは大変なので無料にしています。

10月22日（日）「ポテチパーティー」

「ポテチパーティー」は初めての企画です。イベント



ゲーム中

を企画するときは、マンネリにならないように新しいことを考えています。CS教師会では、いろいろなアイディアを出し、おともだちに聞いたりして企画しています。

12月17日（日）「クリスマス スイーツバイキング」

悪天候の中、小学生20名、中学生6名が参加しました。



ベビーカステラパーティー

ハガキを出し続けている、ひさしぶりの中学生たちも来てくれて感謝でした。

二〇一八年

3月11日(日)「ベビーカーステラパーティー」

ミニイベントとして企画しました。おともだちと一緒にベビーカーステラを作って楽しみました。

●中学生のおともだち

小学校6年生まで毎週のように来ていても、中学生になつて来られなくなる子もいます。毎週来続けている子もいますし、部活が休みの方に時々来る子もいます。また、中学3年生になつて、受験が終わるまで教会に行かないようにおうちで言われてしまった子もいれば、部活を引退して、また毎週来られるようになった子たちもいます。ひとりひとりの事情は違い、抱えている問題や悲しみ、罪は違います。けれども、福音によって、おともだちは救われます。すぐに実を結ばないように思えても、語り続けることをやめてはいけないと思わされます。

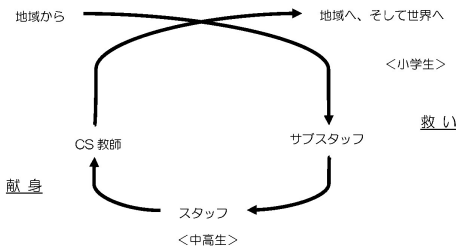
●おともだちは成長します！

これからの展望(未来に向かって)

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」

おともだちは成長します！・・・これからの展望(未来に向かって)

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」
(マタイ 28:19-20)



おともだちは成長します！

(マタイ28・19〜20)

このすべての国民の中には、おともだちも含まれています。おともだちは救われて、イエスさまの弟子として成長していく魂であると考えています。おともだちがイエスさまを信じて救われて、イエスさまを愛する人生を歩んでいくために、できることをしていきます。そして



イベントの受付

5年後、10年後にイエスさまの働き人となっていることを願っています。神様は、いつの時代も「収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい」(ルカ10・2)と語っています。

昨年11月末に95才の兄弟が召されました。彼はCS教師ではありませんが、体が動けるときまで、子ども大会の受付の奉仕をして下さいました。「何かお手伝いすることありますか」と言って来られ、座ってできる奉仕をし、おともだちに仕えました。CS教師たちは励まされました。収穫のための働き手を神様は求めておられます。

私たちの教会もまだまだ発展途上で、できていないことがたくさんあります。これから、失敗する時や、試みの時、苦しい時が教会学校にあるかもしれません。しかし、あきらめないで続けていくときに、必ず神様がいろいろな面で祝福して下さると信じています。

(泉田勝栄)